

懸虹



公益財団法人 星総合病院

特集

地域包括ケアシステムと ほし横塚クリニック について

- ドクターからのアドバイス
- 「病院機能評価」認定を更新
- 「医療福祉建築賞2015」を受賞
- 施設ニュース
- トピックス



ビッグバン (F10、1980)
星 一雄

【醫】

【靈】

訪問看護ステーションしずかは、昨年七月に法人で四ヶ所目の訪問看護ステーションとして大槻町の静御前通りに面したテナントに開設、無事一年を迎えることができました。改めて、立ち上げから運営までご支援いただき、ご尽力下さった皆様に深く感謝しております。

開所以来、地域貢献と訪問看護の啓発を目標に、現在五名のスタッフで運営しています。

利用していただいている九十名(月平均件数/約三〇〇件)のうち約半数が大槻町周辺地域の方々です。近隣の事業所や各医療機関の先生方とも密に連携し、二十四時間体制で三六五日迅速な対応を心がけてきました。また当施設では、日常生活の機能や体力維持など「介護予防」の視点から運動や作業療法などを取り入れ、意欲面の向上にアプローチした丁寧な関わりを大切にしています。最近では認知症、精神障害者の方を支えるご家族への心理的なサポートも重要な役割と考えています。

地域ではまだまだ訪問看護ステーション(訪問看護師)の認知度は低いのが実情です。今後、気軽に立ち寄れるサロンとしての開放や健康教室の開催など、地域の皆様に活用して頂ける場所としての位置付けを目指し「地域包括ケアシステム」の一端を担うべく活動して行きたいと考えています。

在宅事業推進部/訪問看護課の四つの訪問看護ステーションが一丸となり、切磋琢磨しながら頑張りたいと思います。

訪問看護ステーションしずか
所長 影山 啓子

地域包括ケアシステムと ほし横塚クリニックについて



在宅事業推進部長
ほし横塚クリニック内科医師
星 吾 朗

❖ はじめに

現在わが国は超高齢社会の真っ只中にあります。人口に占める高齢者の割合を示す高齢化率は2014年に25%を超え、人口の4人に1人が高齢者です。また人口の減少も問題となっていて、2007年頃から人口は減少しています。この少子高齢化にどのように対応していくかについて様々な角度から議論されています。

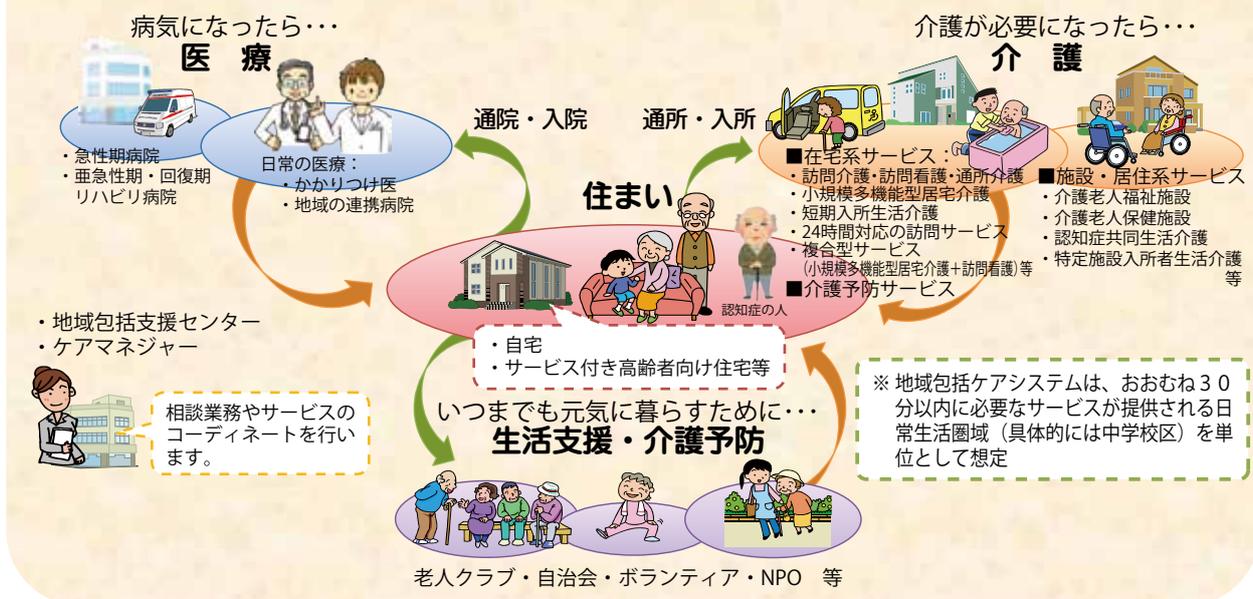
みなさんは「地域包括ケアシステム」という言葉を耳にしたことはありますか？厚生労働省のホームページには下記の図とともに次のように述べられています。

地域包括ケアシステム

- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現**していきます。
- 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要です。
- 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、**高齢化の進展状況には大きな地域差**が生じています。

地域包括ケアシステムは、**保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていく**ことが必要です。

地域包括ケアシステムの姿



この限られた紙面で「地域包括ケアシステム」の詳細を説明するのは困難ですが、少子高齢化がさらに深刻になる将来、高齢者が最期まで自宅等で安心して暮らせるような仕組みを地域が一体となって作るというひとつの対応策をこの「地域包括ケアシステム」という言葉で表現しているのだと理解しています。それは何か特別な新しいことを始めることではなく、それぞれが今までやってきた医療・介護・介護予防などをさらに強化し、連携していくことだと思います。

地域包括ケアシステムの捉え方

- 地域包括ケアシステムの5つの構成要素(住まい・医療・介護・予防・生活支援)をより詳しく、またこれらの要素が互いに連携しながら有機的な関係を担っていることを図示したものです。
- 地域における生活の基盤となる「住まい」「生活支援」をそれぞれ、植木鉢、土と捉え、専門的なサービスである「医療」「介護」「予防」を植物と捉えています。
- 植木鉢・土のないところに植物を植えても育たないのと同様に、地域包括ケアシステムでは、**高齢者のプライバシーと尊厳が十分に守られた「住まい」が提供され、その住まいにおいて安定した日常生活を送るための「生活支援・福祉サービス」があることが基本的な要素となります。そのような養分を含んだ土があればこそ初めて、専門職による「医療・看護」「介護・リハビリテーション」「保健・予防」が効果的な役目を果たすものと考えられます。**



出典：平成25年3月地域包括ケア研究会報告
「地域包括ケアシステムの構築における
今後の検討のための論点」

❖ ほし横塚クリニックについて

ほし横塚クリニックは公益財団法人星総合病院の施設の一つとして、2013年4月に開院しました。現在常勤医は4人(長谷川 浩一、星 吾朗、川名 瞳、豊田 喜弘) いますが、そのうち3人が家庭医です。我々はグループ診療という形で、子供からお年寄りまでの外来診療、各種健康診断(郡山市の特定健診、肺がん検診、胃がん検診、大腸がん検診、乳がん検診、前立腺がん検診など)、各種予防接種(小児の定期・任意予防接種、肺炎球菌ワクチン、インフルエンザワクチンなど、*子宮頸がんワクチンは実施しておりません)、健康相談、訪問診療(休診日を含む24時間体制で原則寝たきりなど通院が困難な方を対象としています)を行っています。また福島県立医科大学 医学部学生の研修協力施設でもあり、医学部学生の教育も行っています。

さらに、今年の6月から第1土曜日、第3土曜日の午前中乳腺外来の診療を開始しました。原則予約制になりますが、乳がん学会認定医の相楽 浩哉 医師が担当します。

❖ 家庭医(総合診療専門医)について

「家庭医療(総合診療)」は日本ではあまりなじみのない名称ですが、海外では広く知られた医療の専門分野のひとつです。

「家庭医(総合診療専門医)」は、子どもからお年寄りまであらゆる健康問題の相談窓口です。現在お困りの症状や病気の相談・解決はもちろん、将来起こりうる病気の予防や健康の維持・増進も含め対応いたします。年齢・性別・臓器を問わず、健康問題や病気についてまずはじめに相談を受け、解決する役割を担っています。家庭医(総合診療専門医)はあらゆる健康問題のおよそ8割に対応することができ、その他の専門的な診療についても各科専門医と適切な連携を取って解決へ導きます。

ほし横塚クリニックでは、福島県立医科大学 地域・家庭医療学講座に所属する家庭医が診療を行っています。

「家庭医療(総合診療)」についてより詳しい情報は、講座のホームページをご参照ください。<http://www.fmu.ac.jp/home/comfam/>



当推進部は、少子高齢化がさらに深刻になる将来に目を向け、星総合病院グループ各部署間の連携の強化、及び星総合病院と各医療機関、地域住民との連携の強化のために平成28年1月に発足し、まず星総合病院グループ全体の部署の統一と調整を行いました。今後も星総合病院グループによる「地域包括ケアシステム」の構築に向けて進んでいきたいと考えています。

星総合病院 在宅事業推進部

『街こおりやま』『ドクターからのアドバイス』コーナーに連載しました

街こおりやま社より毎月発行されている『街こおりやま』に「ドクターからのアドバイス」というコーナーがあり、2015年9月から12月まで星総合病院の4人の医師が担当しました。前号では9月号と10月号をご紹介しましたので、今回は11月号と12月号をご紹介します。

2015年
11月号

Advice from Doctor

整形外科を受診

する方の多くが症状に痛みを伴っています。脱臼や骨折などの急性の激しい痛みから、関節痛や神経痛などの慢性的な痛みまで様々です。本来、痛みは身体の異常を知らせる大切な危険信号の役割を持っていますが、経験された方なら

とても厄介なものと感じるはずで、す。早めに解決可能な急性の痛みならまだしも、いつ治るかわからない慢性の痛みならなおさらでしょう。しかし、周りの人が客観的にとらえることは難しく、ご自身の困難さを周囲に理解してもらえないと感じられた方も少なくないと思います。さらに慢性的な痛みが続くと、ご自分でも客観的にとらえることは難しくなります。

我々も患者さんの痛みを推し量ることは簡単ではありません。必ずしもレントゲンやMRIで痛みを測定することができないからで、



◆ドクターからのアドバイス
慢性の痛みについて
星総合病院 整形外科 リウマチ科
遠藤 康一郎 先生

急な激痛では難しいと思います。慢性の慢性の症状では医療機関を受診する際に、ご自身の経過や痛みの状態について把握して頂くことが解決の近道になります。いつから痛いのか？じっとしていて痛い？動くときだけ痛くなる？朝に痛いか夜にひどいか？どの程度動かせる？どれ位歩けるのか？……等々。

厄介な痛みではありませんが、ご自身の痛みを少し客観性を持って向き合ってみてはいかがでしょうか？診断が早まるばかりか、ご自身の対策を見つづける糸口になると思います。

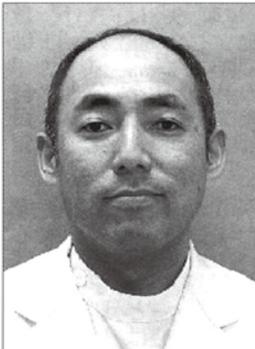
2015年
12月号

Advice from Doctor

普段と同じよう

に歩いていたら、ももやふくらはぎが痛くなった。しばらく休むと歩けるが、また痛くなる。そんな症状を感じたら、閉塞性動脈硬化症の疑いがあります。少し難しい病名ですが、「脚の血管にあらわれた動脈硬化」のことです。

放置していると、歩く→痛む→休む→を繰り返すようになり、次第に歩ける距離が短くなります。やがて、歩いていないときでも痛みが出るようになり、更に悪化すると脚を切断しなければならなくなることもあります。



◆ドクターからのアドバイス
脚の病気？
血管の病気
星総合病院 循環器内科
金子 博智 先生

は、大腸がんとほとんど変わりません。その割に病名がないのは、閉塞性動脈硬化症そのものよりも脳卒中や心筋梗塞で亡くなることが多いからです。脚が痛いだけで放置している間に受診が遅れ、動脈硬化が進んでしまうのです。

病院では、閉塞性動脈硬化症の診断に血圧比検査（ABI）が行われます。ABIは足首と上腕の血圧を同時に測る検査で、15分程度ですみます。症状が軽い場合でもABIによって診断できる場合、おかしな思ったら早めに受診してください。

(公財)日本医療機能評価機構

「病院機能評価」認定を更新

認定期間	2015年10月16日～2020年10月15日 (4回目の認定)
交付日	2016年1月15日
初回認定	2000年10月16日
主たる機能	一般病院2 (主として二次医療圏等の比較的広い地域において急性期医療を中心に地域医療を支える基幹的病院)

機能種別版評価項目3rdG: Ver.1.1



▶ 病院機能評価とは

患者さんや地域の方が適切な医療を安心して受けられるよう、公益財団法人日本医療機能評価機構（病院の質を向上させることを目的に病院機能の第三者評価をおこなう機関として、平成7年7月に厚生省（現厚生労働省）の認可のもと発足。日本で唯一の審査機関）が多方面にわたって医療機関の評価をおこなうものです。平成9年に事業を開始し、現在では全国の病院の約3割が認定を受けています。

この評価は各医療機関の優劣を比較するものではなく、それぞれの病院が自ら優れている点や改善すべき点を把握し、医療における一層の質の向上及びサービスの充実につなげていくとするものです。

審査では日本医療機能評価機構から派遣された医療知識・経験を有し、サーベイヤー研修を受けた第三者が、診療部門・看護部門・事務管理部門の多方面にわたり、評価を行います。

▶ 審査項目等の変更

評価体系は時代とともに何度も改訂されてきましたが、前回7領域あったものが4領域になり、137あった評価項目がそれぞれの病院の機能別に89になり、これまでの体制やマニュアルなどの構造や組織的な活動状況を確認するものから、より現場の具体的な活動や結果を評価する形への大きな変更がありました。ケアプロセス調査として症例トレース法（現場の代表的な一症例を取り上げ、その患者の治療経過などを包括的に見て行く）が取り入れられたことが大きな特徴です。その他、認定期間の5年間は変わりませんが、3年目に「認定期間中の確認」を行うことになり、より継続的な質改善活動が求められるようになりました。

▶ 結果

今回は、院内外で行われている職員が講師になっての健康教室・セミナー等の取り組みによる積極的な健康予防活動や新病院の特性を生かした医療環境の提供が特に高い評価を受け、認定を更新することができました。

今後も地域における役割を踏まえ、医療の質の向上と患者さんへのサービスの充実に努めてまいります。

「医療福祉建築賞2015」を受賞

この度、星総合病院・ポラリス保健看護学院は一般社団法人日本医療福祉建築協会主催の「医療福祉建築賞2015」を受賞しました。

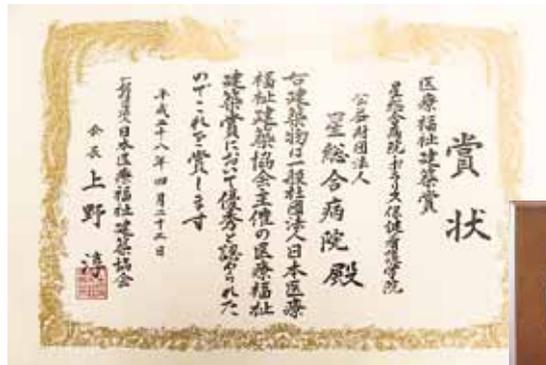
4月22日、建築会館ホール(東京都港区)にて表彰式が行われ、設計者の(株)日建設計、施工者の鹿島建設(株)東北支店、開設・管理者の当法人の代表者が表彰を受けました。

医療福祉建築賞は一般社団法人日本医療福祉建築協会が、広く世に知らせることによって、これらの施設の質の向上をはかることを目的に1991年に厚生省の後援を得て創設した顕彰事業です。毎年、竣工後1年以上たつ新しい医療福祉施設を対象に優良作品を募り、厳正な審査の上、もっとも優秀と認められたもの数点に賞を授与しています。

1次選考では書類による審査、2次選考では現地視察があり、当日は設計・建築関係者は立ち合うことが許されない為、病院スタッフが審査員への説明をしました。デザインに加え、利用者の快適性や、スタッフの使い勝手といった視点もあわせて、総合的な評価が行われます。

受賞者は開設者または管理者・設計者・施工者の三者。医療機関の建築としては最高峰に位置づけられ、毎年医療機関の受賞は1～2施設のみとなる権威ある賞です。2015年は2011～2013年度に竣工した作品が対象となり、応募数は、病院が19作品、診療所などが5作品、福祉施設が11作品の合計35作品の中、2作品が受賞しました。

賞状、盾と共に頂いたプレートは1F外来待合Aブロック脇の柱に設置しました。



施設ニュース

三春町立三春病院

さくら湖マラソン大会 救護ブース設置

6月12日

「第19回さくら湖マラソン大会」に、今年も三春病院が救護ブースを担当させて頂きました。大会当日は気温・湿度が高かった為、体調を崩される方がおられました。大きな事故もなく無事に終了することができました。今回は血圧測定などに加え、リハビリテーション科では“セルフコンディショニング”をテーマにテーピングやストレッチの方法、ランナースエクササイズプログラム冊子の配布などを行いました。当法人からも職員がランナーとして出場、優勝者もできました。



星ヶ丘病院

DPAT出動

4月14日の熊本地震を受けて、福島県からの要請があり、星ヶ丘病院災害派遣精神医療チーム (DPAT) は5月9日に郡山を出発、10日から5日間の日程で被災地域での心のケアにあたりました。精神科医を中心に、看護師、精神保健福祉士、連絡調整員として作業療法士の4名で活動、任務を終了し無事に帰院しました。7月12日(火)には県北保健福祉事務所大会議室にて「平成28年度熊本地震における福島県DPAT派遣報告会」を予定しています。



星ヶ丘病院・介護老人保健施設オリオン

運動会

6月11日

日頃のリハビリやレクリエーションの成果を発揮する場として、ご家族の方々もご参加いただき毎年開催しています。3チームに分かれ競技し、合計点数を競いました。最後は約200名が集まった会場全体でダンスを行い、熱戦を締めくくりました。



養護老人ホーム三春町敬老園

農業活動

現在、畑には玉ねぎ、じゃがいも、きゅうり、ナス、青じそ、トマト、かぼちゃ、ニンジン、さつまいもが育っています。

6月に入りそろそろ玉ねぎが収穫できる予定です。きゅうり等の夏野菜は5月末に苗植えをし、7月末にはあおぞら市へ販売に行きたいと思っています。秋には収穫祭として、農業指導の市川さんや地域の方々を招待してイベントを行う予定です。



三春町第1保育所

親子遠足

6月3日

晴天の中、那須動物王国へ総勢191名で出かけました。ドッグショーやバードショーに参加して直接犬や鷹に触れたり、いろいろな動物に餌をあげて動物とのふれあいを楽しんできました。

子どもたちはカピバラに会えるのを楽しみにしていましたが、いざ目の前に来ると少し驚いた様子でした。ワンちゃんバスに乗ったりおうちの方と一緒に弁当を食べたりとみんなで楽しい時間を過ごしました。





病院レストランオープン!

4月から当財団の「食」に関する事業の一つとして運営することになりました。5月よりJOYEAT+KITCHEN(ジョイトキッチン)としてグランドオープンし、多くの方々にご利用いただいております。提供するメニューはすべて、当財団の管理栄養士が考えた「塩分・カロリーを控え」「野菜たっぷり」できる限り冷凍食材や加工品を使わず地元の食材や病院の農園で採れた旬の野菜を使って美味しく健康的なものを提供して行きます。

メニューは日替わりで4種類デザートお飲み物付きです。ぜひ、ご利用ください。



あおぞら市 毎週火曜日開催中

今年もまた6月～11月の毎週火曜日(祝日を除く)10:30～13:00、かがやき健康館前広場にて「あおぞら市」を開催しています。新鮮な野菜や果物にきのこ、切花や鉢植え、手作り雑貨や天然酵母パン、スイーツなど…見ているだけでも楽しい様々な商品が並びます。旬のものの美味しい食べ方や植物の上手な育て方など色々な情報交換をしながら、美味しく楽しく健康な生活を目指しませんか? 出店者も募集中です。

7月の健康講座メニュー

- | | | |
|-------------------------|--------------|-------|
| 5日「知って予防しよう! 熱中症」 | 保健師 | 佐藤 正基 |
| 12日「認知症予防の豆知識」 | 認知症看護認定看護師 | 田辺 晃子 |
| 19日「若々しい姿勢をつくろう(仮)」 | 作業療法士 | 佐藤 裕美 |
| 26日「こんな症状は物忘れ? 認知症?(仮)」 | 認知症初期集中支援チーム | 樽川 佳代 |

メグレスホールでは毎週火曜日10:20から、理学療法士による手軽にできる10分間の健康体操、10:30～11:00参加費無料の健康講座も開催中。

第2・第4火曜日には郡山市委託事業「こおりやまオレンジカフェ☆キラリ☆」(参加費200円お茶・お菓子付き)も引き続き開催しています。

お気軽にお越しください。



ポラリス保健看護学院学校説明会

下記の日程で「ポラリス保健看護学院学校説明会」を開催いたします。

- 1回目 平成28年7月23日(土) 9:30～12:00
- 2回目 平成28年8月27日(土) 9:30～12:00

今年はA・B2つのコースをご用意し、お越しいただく皆さんのニーズに合ったものと考えております。

看護に興味のある方は、この機会にぜひ最新の情報を手に入れてください。詳しくはポラリス保健看護学院ホームページをご覧ください。



昨年の様子

ご意見をお聞かせ下さい。

ホームページアドレス
<http://www.hoshipital.jp>
 発行/ 公益財団法人星総合病院
 編集/ 法人広報部
 発行日/ 平成28年7月
 住所/ 〒963-8501
 郡山市向河原町159番1号



公益財団法人 星総合病院

- 星総合病院
〒963-8501 福島県郡山市向河原町159番1号
TEL 024-983-5511
- 星総合病院 在宅介護支援センター
TEL 024-983-5515
- ほしのご保育園
TEL 024-983-5519
- 星ヶ丘病院
〒963-0211 福島県郡山市片平町字北三天7番地
TEL 024-952-6411
- 星ヶ丘訪問看護ステーション
TEL 024-962-1711

- 居宅介護支援事業所星ヶ丘
TEL 024-952-6414
- 星ヶ丘保育園
〒963-0211 福島県郡山市片平町字北三天7番地3号
TEL 024-951-0788
- 介護老人保健施設 オリオン
〒963-0211 福島県郡山市片平町字三天2番地
TEL 024-952-6413
- 三春町立三春病院(指定管理)
〒963-7752 福島県田村郡三春町字六升舘50
TEL 0247-62-3131
- 三春訪問看護ステーション
TEL 0247-73-8270
- ほし横塚クリニック
〒963-8803 福島県郡山市横塚二丁目20-36
TEL 024-956-7778

- 星訪問看護ステーション
TEL 024-956-2322
- 芳賀・小原田地域包括支援センター
TEL 024-941-1121
- 星訪問看護ステーション しずか
〒963-0209 福島県郡山市龍崎町目18番地 ウェストパークビル102号
TEL 024-983-6410
- 介護老人ホーム 三春町敬老園(指定管理)
〒963-7752 福島県田村郡三春町字六升舘50番地の1
TEL 0247-62-3618
- ポラリス保健看護学院
〒963-8801 福島県郡山市向河原町159番7号
TEL 024-983-5010
- 三春町第1保育所(指定管理)
〒963-7769 福島県田村郡三春町担橋1-4-1
TEL 0247-62-3839